坂本龍馬の人物像概略　vol.3

元治元年8月1日　青蓮院塔頭金蔵寺において住職智息院の媒酌により内祝言を挙げたのち龍馬はお龍を伏見寺田屋にあずけ自身は勝海舟の元で東奔西走する。

元治元年(1864)6月5日の池田屋事件に勝塾の塾生が加わっていたことが判明。

9月　勝塾の塾生の素性について幕府の調査が行われる。「海舟日記」
勝塾に亡命浪士が多数いることを幕府が察知。

10月22日　勝海舟、軍艦奉行罷免。勝は、朝廷に対し攘夷は不可能であるといった老中安部正外を高く評価していたが、幕府独裁を貫く姿勢をくずさなかった阿部は勝の雄藩共和の方針には大反対した。勝が危険思想の持ち主で大坂、神戸で勝塾を通じて広めていると判断された。勝は陸路江戸に戻り11月2日江戸着、10日罷免。処罰ではなく無役になっただけなので罷免中も「安房守」である。『維新士佐勤王史』

元治2年(1865)3月18日　神戸海軍操練所が廃止される。『藤岡屋日記』
勝安房に知らせが届いたのは6日後の18日。『海舟日記』

これ以降　龍馬は勝海舟の斡旋により薩摩藩の庇護下に入り、薩摩のエージェントとして薩長同盟の締結に向け奔走する。

慶応2年1月21日　龍馬、京都小松邸にて木戸孝允、小松帯刀、西郷隆盛の会談に立会い、薩長同盟が成立する。「二十二日木戸、小松、西郷、三氏会う」と『坂本龍馬手帳摘要』に記載があるが、「小松と西郷が一晩の熟慮で決意し、21日に会談とみる」松浦玲『坂本龍馬』2008・岩波新書「二十一日、桂小五郎、西郷との談判　約決の次第、委細坂本氏より聞取」『三吉慎蔵日記抄録』

1月23日　龍馬夕刻京都より伏見寺田屋に戻る。「坂本龍馬手帳摘要」

1月24日未明　龍馬、三吉慎蔵八ッ半（午前3時）頃、伏見奉行配下の襲撃を受ける。龍馬は短銃を発射し、三吉慎蔵は、槍を持って応戦する。龍馬は左右の指を負傷。捕吏がひるんだ機に脱出し、三吉は龍馬を材木納屋に潜ませる。お龍、伏見薩摩屋敷に急報する。三吉が伏見薩摩屋敷に龍馬の無事を伝える。留守居役・大山成美が薩摩藩の船印を立てた船で救出する。『三吉慎蔵日記抄録』

2月29日　龍馬、お龍、帰国する西郷らに連れられ薩摩へ行くことになった。（日本で始めての新婚旅行といわれているが、結婚式を挙げたのは一年半前の1864年8月1日）西郷吉之助・小松帯刀らと共に伏見より舟で大坂に向かう。龍馬はかごに乗りお龍は人目を避けるため男装して行列に加わった。『坂本龍馬手帳摘要』『三吉慎蔵日記抄録』『反魂香』

3月10日　鹿児島に着いた龍馬らは3月16日吉井幸輔と共に傷療養を兼ねて、日当山（ひなたやま）温泉に行く。『坂本龍馬手帳摘要』

3月28日　龍馬とお龍、吉井幸輔の案内で、霧島で湯治中の小松帯刀を見舞い霧島山温泉所に泊まる。『坂本龍馬手帳摘要』

3月29日　龍馬とお龍、霧島山の高千穂峰に登山。天の逆鉾に戯れ、霧島神宮に泊る。『坂本龍馬手帳摘要』

6月4日　龍馬ら「桜島丸」を長州藩に引き渡すため、鹿児島を出航下関へ向かう。『坂本龍馬手帳摘要』・12月4日付乙女宛龍馬書簡

7月　下関から長崎へと移動する。

12月4日　この年一年間に起こったことを書き記している。池内蔵太無念の最後を伝える「ワイルウェフ号」遭難・下関海戦・寺田屋遭難事件を伝える。姉乙女に「今年正月廿三日夜のなんにあいし時も此龍女おれバこそ、龍馬の命ハたすかりたり」と書き、続いてお龍の出自や霧島山登山の事などを伝える。12月4日付権平等一同宛龍馬書簡　京都国立博物館所蔵

12月14日　龍馬、溝淵広之丞を伴い、長崎から下関に着く。龍馬、阿弥陀寺（のちの赤間神宮）の奇兵隊本陣「長府藩で大年寄を世襲する豪商伊藤助太夫（九三）方」に入り、下関での定宿とする。伊藤家先代は、吉田松陰とも親交があった伊藤静斎（せいさい）である。

慶応3年(1867)2月10日　龍馬、長崎からお龍を連れ帰り、下関伊藤助太夫邸（自然堂）に入る。2月16日付三吉慎蔵宛龍馬書簡

このころより下関が龍馬の本拠地となる。

4月　長崎の土佐藩大監察福岡藤次（孝悌）、後藤象二郎と共に、苦しい経営を強いられていた龍馬が率いる「亀山社中」を、「海援隊」として土佐藩傘下に新設する事と、中岡慎太郎率いる陸援隊を併設する事を目指したという。

海援隊発祥の地「小曽根邸の跡碑」は長崎市万才町。

4月23日　瀬戸内海の備中・六島沖で、夜11時頃「いろは丸」、紀州和歌山藩船「明光丸」とが衝突し「いろは丸」は沈没する。4月28日付菅野覚兵衛・高松太郎宛龍馬書簡

6月9日　龍馬、後藤象二郎と共に、土佐藩船「夕顔丸」に海援隊書司・長岡謙吉らと乗船、長崎を出航、京都に向かう。土佐商会岩崎弥太郎ら、餞別として龍馬に馬乗袴を贈る。岩崎弥太郎『瓊浦日歴』

この間の船中で「船中八策」がまとめられたとされるが、同時代資料にはその存在は確認できない